

市町村名	国頭村						
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	ウッドスタート推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 -1-(6)	
事業内容	国頭村木材を活かした、玩具、家具、内装材などを開発し、木に対する親しみや木の文化への理解を深める活動を推進し、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やしことにより、「木づかいファン」を増やし、国頭村木材の利用促進による林産業の活性化を促す。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他( )		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,098	-			
		(b)予算現額	5,098	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)前年度繰越額	-	2,697			
	A.計(b+d)		5,098	2,697			
	B.執行済額		2,401	1,733			
	うち交付金充当額		1,921	1,386			
	次年度繰越額		2,697	0			
	執行率(%) (B/A)		47.1%	64.3%			
予算の状況の説明		おもちゃ製作工場の台風被害により、ウッドスタートを推進するおもちゃの製作に遅れが生じ、委託費2,697千円を繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度 9	26年度 7-	27年度 5-	
	木育玩具の製作	目標	(木育玩具の製作)	(-)	(-)	(-)	
		実績	木育玩具の製作				
				( )	( )	( )	
達成状況説明	・ウッドスタート玩具として、収納箱入りのリュウキュウマツ積木セットを制作した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度 9	26年度 7-	目標値(29年度)
	木育玩具の製作	目標	( )	(木育玩具の製作)	( )	( )	( )
		実績		木育玩具の製作			
	【参考指標】 木育玩具、木工クラフト販売額	目標	( )	( )	(200千円)	(700千円)	(累計3,000千円)
		実績			363千円	947千円	
進捗状況説明	H24事業にて木の良さや木のぬくもりを生まれたときから伝えるため、出産祝いとして送る琉球松製の積木玩具としてのウッドスタート(WS)玩具の制作や、木育玩具、木工クラフトの制作のためレーザー加工機を購入してWS玩具を制作した。レーザー加工機は、H25年度から木材の性質や活かし方に長けており、協議会の一員である国頭村森林組合に管理を依頼し、WS玩具及び木育玩具、木工クラフトの製作に活用している。制作したWS玩具等の周知及び営業・販売を、関連事業のH25「やんばる国頭村木材活用「木育」推進事業」及びH26「森林資源活用推進事業」のなかで、国頭の発信する木育拠点施設のおもちゃ美術館や木育キャラバン、木育イベント出展時に行っているが、WS玩具は金額が1セット7,560円と高額なこともあり、販売数が伸び悩んでいる。制作した商品の販売ターゲットを広げるため個人客だけでなく、子ども団体、教育機関等への周知・営業が必要である。						

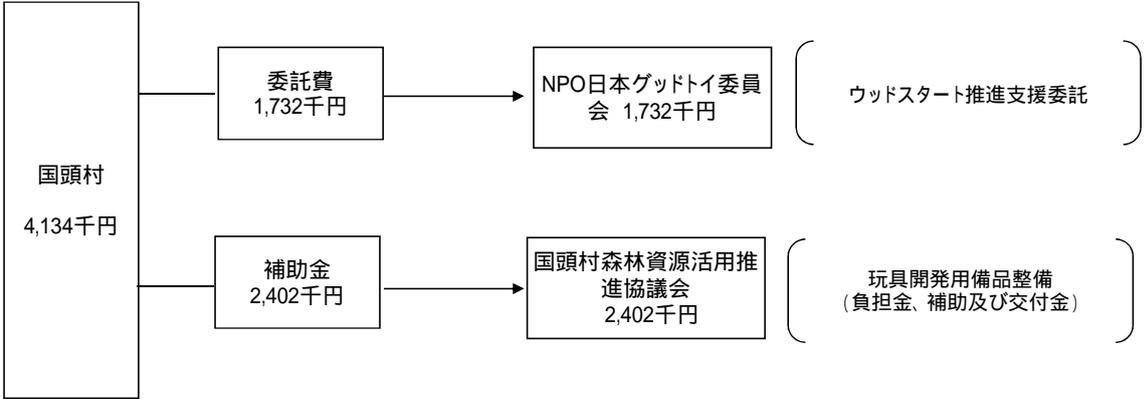
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・H24年度は任意組織の森林資源活用推進協議会にて取組を行ったが、取組の効率化を考え、国頭村森林組合に業務委託して取組を行っている。</p> <p>レーザー加工機を活用した、WS玩具及び木工玩具、木工クラフトの製作は、H25年度から木材の性質や活かし方に長けており、協議会の一員である国頭村森林組合に管理を依頼し実施している。制作したWS玩具や木育玩具、木工クラフトの周知・販売は、関連事業のH25「やんばる国頭村木材活用「木育」推進事業」及びH26「森林資源活用推進事業」のなかで、国頭の発信する木育拠点施設のおもちゃ美術館や木育キャラバン、木育イベント出展時に行っているが、WS玩具に限っては、金額が1セット7,560円と高額なこともあり、販売数が伸び悩んでいる。</p>	<p>・国頭村の「木育」推進拠点施設”やんばる森のおもちゃ美術館”だけでなく、他市町村の保育園や子ども施設へ木製おもちゃを持って出かける”木育キャラバン”や県内外で開催される各種イベントにて展示・体験ブースを設置して”木育”をPRする機会などをとおして、ウッドスタート玩具の周知・販売を進めるとともに、子ども団体、教育機関等への周知・営業が必要である。</p>

**今後の取り組み方針**

・国頭村の「木育」推進拠点施設”やんばる森のおもちゃ美術館”だけでなく、他市町村の保育園や子ども施設へ木製おもちゃを持って出かける”木育キャラバン”(年6回開催予定)や県内外で開催される各種イベントにて展示・体験ブースを設置して”木育”をPRする機会(年5回開催予定)などの活動や、子ども団体、教育機関等への周知・営業の機会をとおして、ウッドスタート玩具の周知・販売を進め、木に触れる機会を増やし、また、木の良さを再認識してもらう「木育」活動を数多く行い、「木づかいファン」を増やすことにより、おもちゃの販売増を図っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,134	4,134	3,307	827	0



資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・「木づかいファン」を増やす試みとしてウッドスタートの取組を発案し、全国的にその周知の取組を行っているNPO団体と随意契約を行った。</p> <p>・費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものが等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	